

至自昭		至自昭		昭		年月日	略歴	摘要
昭	自	昭	自	昭	自			
20	16	16	14	13	13			
4	8	7	7	12	12	9		
11	2	20	19	16	15	22		
							<p>軍令陸甲第六五号により第一師団臨時編成下令。 普通等において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境通過。 奉天省海城着。 海城出発。 東安省密山着。 爾後同地付近の警備。 移駐のため東安出発同日虎林着。 虎林付近の警備。 錦第二編成二号下令。 編成完結。 虎林付近の警備。</p>	

第一師団司令部略歴

通称号 錦第二四一〇部隊
 満第四五五部隊

		昭						
		20						
		9	9	8	4	4	4	4
		12	2	15	30	23	22	15
	陸軍機密第一五〇号により虎林出發。							
	鮮満国境(安東)通過。							
	釜山港出帆。							
	敦賀着。							
	高知着。							
	停戦。							
	終戦。							
	復員完結。							
師団長								
中将								
鷹森								
孝								

歩兵第一二連隊略歴													年 月 日	略 歴
通称号 錦第二四二五部隊 満第九三六部隊														
昭 19	昭 16	昭 15	昭 14	自 昭 14	自 昭 13									
2	8	7	6	12	12	12	12	12	10	10	10	10	10	9
12	2	20	16	22	21	9	8	5	11	10	7	5	2	22
<p>軍令陸甲第六五号により歩兵第一二連隊編成下令。 丸龜において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境(安東)通過。 錦県着。 錦県出發。 東安省密山着。 密山付近の警備。 一部東安出發、同日東安省宝東着。同日より同地付近の警備。 主力東安出發、同日宝東着。同日より同地付近の警備。 錦第二編成二号下令。 編成完結。 一部移駐のため宝東出發。</p>														
													摘 要	

												昭 20	
													9 9 8 5 4 4 4 4 5 5 2
													11 2 15 5 18 18 13 10 4 3 13
													復員完結。 終戦。 停戦。 高知着。 博多上陸。 釜山港出帆。 鮮満国境（安東）通過。 陸軍機密第一五〇号により宝東出発。 宝東着。 都木河駐屯部隊主力に合流のため同地出発。 都木河着。
													隊長 大佐 原 田 喜 代 蔵

昭 20												昭 13		年 月 日	略 歴	摘 要									
5	5	4	4	4	12	12	々	10	10	10	10	9	12				2	30	22	17	12	9	々	12	9
先発隊の行動 高知着。 敦賀上陸。 釜山出帆。 鮮満国境（安東）通過。												陸軍機密第一五〇号により虎林出発。 同日より同地付近の警備。 移駐のため奉天出発。 奉天着。同日より同地付近の警備。 鮮満国境（安東）通過。 釜山上陸。 坂出港出帆。 徳島において編成完結。												歩兵第四三連隊略歴 通称号 錦第二四三五部隊 満第七一二部隊	

		9	9	8	5	4	4
		9	2	15	5	16	10
		復員完結。	終戦。	停戦。	高知着。	博多上陸。	鮮満国境（安東）通過。
	隊長						
	大佐						
	多田						
	金次						

													歩兵第四四連隊略歴		
													通称号 錦第二五四五部隊 満第一四五部隊		
													略歴		
													年 月 日		
昭	昭	昭											昭		
20	19	14											13		
4	4	4	◇	7	◇	12	12	12	10	10	10	10	9		
22	18	14	◇	20	◇	9	14	11	14	11	9	2	22		
釜山港出帆。 主力鮮満国境(安東)通過。 陸軍密第一五〇号により東安出発。 東安着。同日より同地付近の警備。 移駐のため虎林出発。 虎林着。同日より同地付近の警備。 移駐のため東安出発。 密山着。同日より同地付近の警備。 移駐のため奉天出発。 奉天着。 釜山上陸。 坂出港出帆。 高知において編成完結。 軍令陸甲第六五号により歩兵第四四連隊編成下令。													略		
													摘要		

								9	9
								8	5
								4	4
								10	2
								15	1
									23
									敦賀上陸。
									高知着。
									先発隊は昭和二十年四月三日東安出發。四月十四日西舞鶴着。四月十六日高知着後發隊は昭和二十年六月二十六日東安出發。六月三十日羅律港出帆。
									七月四日新潟着。七月八日高知着。
									停戦。
									終戦。
									復員完結。
									隊長
									大佐 坂本俊馬

昭												年	略	歴		
20															月	
昭												日	略	歴		
19															日	
4	4	3	3	12	12	12	12	◇	10	10	10	10	9			
11	10	20	19	19	18	16	13	◇	10	7	5	3	22	軍令陸甲第六五号により騎兵第一一連隊臨時編成下令。 善通寺において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境(安東)通過。 遼陽着。 移駐のため遼陽出發。 東安省密山着。 移駐のため密山出發。 東安省宝東着。同日より同地付近の警備。 移駐のため宝東出發。 東安省永發屯着。同日より同地付近の警備。 集結のため永發屯出發。 宝東着。		
															稿 要	

騎兵第一一連隊略歴

通称号

錦第二四五部隊
満第五二部隊

				9	9	8	5	5	4	4	4
				9	2	15	11	2	30	19	16
				復員完結。	終戦。	停戦。	高知着。	敦賀着。	釜山港出帆。	鮮満国境（安東）通過。	陸軍機密第一五〇号により宝東出発。
	隊長										
	中佐										
	長										
	谷										
	川										
	澄										
	次										

山砲兵第一連隊略歴															
通称号 錦第二四六五部隊 滿洲第二五一部隊															
昭	昭		昭		昭		昭		昭		昭		年 月 日	略 歴	摘 要
20	16		14		13		13		13		13				
4	4	8	7	11	12	12	10	10	10	10	10	9			
9	6	2	20	28	18	15	13	12	9	7	5	22			
軍令陸甲第六五号より山砲兵第一連隊編成下令。 善通寺において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境（安東）通過。 奉天省海城着。同日より同地付近の警備。 海城出發。 東安省密山県西密山着。同日より同地付近の警備。 移駐のため東安出發。 東安省虎林着。同日より同地付近の警備。 錦第二編成二号下令。 編成完結。 陸軍機密第一五〇号により虎林出發。 鮮満国境（安東）通過。															

	9	9	8	5	4	4	4
	10	2	15	6	23	13	12
<p>隊 長 大佐 小幡 実</p>	復員完結。	終戦。	停戦。	先発隊および後発隊は虎林出發の日時を異にし、かつ敦賀に上陸している。 高知着。	徳島着。	博多上陸。	釜山港出帆。

												工兵第一連隊略歴		
												通称号 錦第二四七五部隊 濤第三五二部隊		
												略歴		
												摘要		
昭 16			昭 14			昭 13			年 月 日					
12	12	8	7	◇	12	12	12	10	10	10	10	10	10	9
23	19	1	20	◇	18	17	14	13	12	9	7	2	22	
<p> 軍令陸甲第六五号により工兵第一連隊臨時編成下令。 善通寺において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境（安東）通過。 奉天着（一部海城へ） 移駐のため奉天出發（海城部隊は十五日出発）。 東安省密山着（海城部隊は十八日着）、同日より同地付近の警備。 移駐のため東安出發。 東安省虎林着。同日より同地付近の警備。 錦第二編成二号下令。 編成完結。 部隊の一部は冬季転地渡河演習参加のため虎林出發。 濤支国境通過。 </p>														

昭 19																昭 18						昭 17																														
7	3	3	3	12	12	12	3	3	3	12	12	11	3	3	3	12	28	23	19	14	9	7	2	17	14	8	6	3	29	26	21	19	26	関総作命により飛行場整備作業に参加のため部隊の一部は虎林出発。	虎林着。	満支国境通過。	懐遠出発。	懐遠着。	満支国境通過。	部隊の一部は転地渡河演習参加のため虎林出発。	虎林着。	満支国境通過。	懐遠出発。	懐遠着。	中支那安徽省懐遠県懐遠着。	満支国境通過。	部隊の一部は転地渡河演習参加のため虎林出発。	虎林着。	満支国境通過。	懐遠出発。	懐遠着。	中支那安徽省懐遠県懐遠着。

		昭											
		20											
		9	9	8	5	4	4	4	4	11	11	◇	7
		11	2	15	2	17	26	9	6	30	26	◇	31
<p>隊長 大佐 岩本 清</p>	<p>先発隊は四月三日虎林出發。四月六日鮮満国境通過十三日釜山出帆。十四日舞鶴上陸、十七日高知着。</p> <p>復員完結。</p> <p>終戦。</p> <p>停戦。</p> <p>高知着。</p> <p>博多上陸。</p> <p>釜山港出帆。</p> <p>鮮満国境通過。</p> <p>陸軍機密第一五〇号により虎林出發。</p> <p>虎林着。</p> <p>三十里堡出發。同日関東州界通過。</p> <p>関東州三十里堡着。</p> <p>関東州界通過。</p>												

第一師団通信隊略歴													年 月 日	略 歴	摘 要																					
昭 20				昭 14				昭 13																												
4	4	4	4	12	12	12	10	10	10	10	10	10	9																							
23	22	16	13	17	12	9	12	11	8	6	5	22																								
敦賀上港。				釜山港出発。				鮮 ^満 國境(安東)通過。				陸軍機密第一五〇号により虎林出發。					同日東安省虎林着、同日より同地付近の警備。		移駐のため東安出發。		東安省密山着、同日より同地付近の警備。		移駐のため遼陽出發。		奉天省遼陽着。		朝鮮 ^鮮 滿國境(安東)通過。		釜山上陸。		坂出港出帆。		丸龜において編成完結。		軍令陸甲第六号により第一師団通信隊 ^新 時編成下令。	

		9	9	8
		13	2	15
		復員完結。	終戦。	停戦。
	隊長			高知着。
	大尉			
	三宅			
	悳吉			

												輜重兵第一連隊略歴		
												通称号 錦第二四八五部隊 満第九三〇部隊		
												略歴		
												摘要		
昭 20				昭 14				昭 13				年 月 日		
4	4	4	4	12	12	12	10	10	10	10	10	9	9	軍令陸甲第六五号により輜重兵第一連隊臨時編成下令。 普通寺において編成完結。 坂出港出帆。 釜山上陸。 鮮満国境（安東）通過。 遼陽着。同日より同地付近の警備。 移駐のため遼陽出発。 東安省密山着、同日より同地付近の警備。 移駐のため東安出発。 同日東安省虎林着。同日より同地付近の警備。 陸軍機密第一五〇号により虎林出発。 鮮満国境（安東）通過。 釜山出帆。 敦賀上陸。
23	22	16	13	13	5	2	12	10	8	6	5	22		

				4
		9	9	8
		15	2	15
		復員完結。	終戦。	停戦。
	隊長	釜山出帆、五月二日敦賀に上陸して同十二日高知に到着している。	後発隊は四月十七日虎林を出発して四月二十日鮮満国境を通過し四月三十日	高知着。
	大佐 中島 秀次			

年		月		日		略		歴		摘要											
昭	16	7	7	20	20	昭	17	11	11	5	31	昭	20	3	11	27	25	5	31	20	
<p>通称号 錦第二四八三部隊 鴻第九五七部隊</p> <p>第一師団兵器勤務隊略歴</p> <p>錦第二編成二号により編成下令。 東安省虎林において編成完結。同日より同地付近の警備。 復帰下令。 復帰と同時に師団司令部内に兵器修理所を開設。 第一師団兵器勤務隊臨時編成下令。 虎林において編成完結。 陸軍機密第一五〇号により虎林出発。 鮮清国境(安東)通過。 釜山港出帆。 敦賀上陸。 高知着。 停戦。 終戦。 復員完結。</p>																					

	<p style="text-align: center;">議長</p> <p style="text-align: center;">中尉 新居 一 三</p>

											第一師団制毒隊略歴		
											通称号 錦第二四八二部隊		
											略歴		
											摘要		
								昭 20	昭 17	昭 16	昭 14	年	
									11	7	12	月	
									25	23	5	日	
15	12	3	30	19	16	15	10						
停戦。	高知県。	敦賀上陸。	釜山港出帆。	鮮満国境(安東)通過。	陸軍機密第一五〇号により虎林出發。	虎林において編成完結。	第一師団制毒隊編成下令。		隊長 中尉 稲垣庄平	所長 中尉 稲垣庄平	虎林において制毒訓練所として發足し東安省虎林に駐屯。		

	9	9
	3	2
	隊長 大尉 稲垣 庄平	復員完結。 終戦。

昭 20	第一一師団防疫給水部略歴										
	年 月 日	略	歴	摘 要							
昭 16	7	16	臨時編成下令。								
	8	2	林口県古城鎮において編成完結。								
	8	28	移駐のため古城鎮出発。								
	8	29	虎林県宝東着。同日より同地付近の警備。								
	4	15	陸軍機密第一五〇号により宝東出発。								
	4	18	鮮満国境（安東）通過。								
	4	30	釜山港出帆。								
	5	2	敦賀上陸。								
	5	12	高知市着。								
	8	15	停戦。								
	9	2	終戦。								
	9		復員完結。								
	9			隊長 軍医少佐 伊藤正彦							

		昭 20										年 月 日	第一師団衛生隊略歴 通称号 錦第二四八四部隊
		9	9	8	4	4	4	4	4	4	3		
		3	2	15	30	23	22	17	14	11	27	略 歴	摘要
隊長 少佐 武市長雄		復員完結。	終戦。	停戦。	高知県	敦賀上陸。	釜山港出帆。	鮮満国境（安東）通過。	陸軍機密第一五〇号により虎林出發。	虎林において編成完結。	臨時編成下令。		

										昭	年	月	日	第一一師団病馬廠略歴	通称号 錦第二四八七部隊									
										20														
										3														
										9	9	8	4	4	4	4	4	4	4	3	略	歴		
										3	2	15	30	23	22	15	12	11	17					
										臨時編成甲下令。 虎林において編成完結。 陸軍機密第一五〇号により虎林出發。 鮮満国境（安東）通過。 釜山港出帆。 敦賀上陸。 高知着。 停戦。 終戦。 復員完結。										廠長		中尉 荒牧七郎		摘要

昭和20年											第一師団第一野戦病院略歴
年月日											
9	9	8	5	5	4	4	4	4	4	3	
3	2	15	11	2	30	23	20	17	11	27	<p>臨時編成下令。</p> <p>虎林において編成完結。</p> <p>陸軍機密第一五〇号により虎林出發。</p> <p>鮮満国境（安東）通過。</p> <p>釜山着。</p> <p>釜山港出帆。</p> <p>敦賀上陸。</p> <p>高知着。</p> <p>停戦。</p> <p>終戦。</p> <p>復員完結。</p>
院長 大尉 田中芳蔵											摘要

												第二五師団司令部略歴			
												通称号 満第二〇〇部隊 国第四九〇一部隊			
												略歴			
												年 月 日			
												昭 16			
												昭 18			
												昭 20			
9	8	4	4	3	3	3	3	◇	9	11	11	8	7	国第二編成二号下令。 奉天省遼陽において編成完結、同日より同地付近の警備。 移駐のため遼陽出發。 東安省林口県林口着、同日より同地付近の警備。 移駐のため林口出發。 東安省鶏寧県平陽着、同日より同地付近の警備。 特臨編第四七号下令。 編成完結。 転進のため平陽出發。 鮮満國境図們通過。 釜山港出帆、同日博多上陸。 宮崎県西諸方郡小林町着、同日より同地付近の警備。 停戦。 終戦。	
2	15	8	4	25	24	23	17	◇	8	28	25	3	24		

	9
	30
隊長 中将 加藤 怜三	復員完結。

												昭											
												20	16										
												年	月										
												日	日										
10	9	8	4	◇	4	4	4	3	3	8	7	昭	16	年	月	日	略	歴	摘要				
10	2	15	13	◇	10	4	2	23	17	3	24												
<p>隊長 大佐 鎌 浦 留 次</p>												<p>国第二編成二号下令。 雞寧県滴道において編成完結。 爾後滴道、半截河付近の警備その間一部の部隊は綏陽付近の警備。 特臨編第四七号下令。 編成完結。 転進のため滴道出發。 鮮滯国境図們通過。 釜山港出帆。 博多上陸。 官崎県西諸県郡高原町着。 停戦。 終戦。 復員完結。</p>											

歩兵第一四連隊略歴

通称号 滴第一八〇部隊
 国第四九〇三部隊

昭 16	自 昭 19	至 昭 20											年 月 日	歩 兵 第 四 〇 連 隊 略 歴		
7	8	8	10	3	3	3	3	3	4	4	8	9	9		23	略 歴
24	3			17			23	28	30	5	7	15	2	23	国第二編成二号下令。 雞寧県平陽において編成完結、同日より同地付近の警備。 綏陽県綏陽付近警備のため約一ヶ月大隊派遣。 特臨編第四七号下令。 編成完結。 転進のため平陽出發。 鮮満国境區們通過。 釜山港出帆。 博多上陸。 宮崎県西諸県郡飯野町着。 停戦。 終戦。 復員完結。	
															隊長 大佐 愛 甲 立身	摘 要

		昭			昭			昭		
		20			18			16		
		4	4	3	3	3	3	3	8	7
		9	7	31	29	26	17	3	3	24
		略			略			略		
		歴			歴			歴		
		摘要			摘要			摘要		
歩兵第七〇連隊略歴										
通称号 酒第六三四部隊 国第四九〇五部隊										
国第二編成二号下令。 東安省林口において編成完結。 同日より林口、半截河付近の齎備。 移駐のため林口出発。 東安省馬家子着。 同日より同地付近の齎備。 特臨編第四七号下令。 編成完結。 転進のため馬家子出発（一部三月二十六日出発）。 鮮満国境區間通過（一部四月一日国境通過）。 釜山出帆。 博多上陸。 宮崎県西諸県郡真幸村着。 その後鹿児島県出水郡野田村に移駐、さらに宮崎県西諸県郡野尻村に移駐。										

		9	9 8
		20	2 15
	隊長 大佐 石川 釜吉	復員 完結。	終戦 停戦。

											騎兵第七五連隊略歴									
											通称号 満四五部隊 国第四九〇六部隊									
											略歴									
											摘要									
昭 20	昭 16	年	月	日	3	8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
昭和十五年より雞寧県平陽に駐屯していた騎兵第七五連隊を改編、第二五師団長の隸下に入らしめらる。											大佐 田部 馨 隊長									
特臨編第四七号により編成下令。																				
雞寧県平陽において編成完結。																				
転進のため平陽出發。																				
鮮満国境図們通過。																				
釜山港出帆。																				
博多上陸。																				
宮崎県西諸県郡小林町着。																				
停戦。																				
終戦。																				
復員完結。																				

													昭 20
10	9	8	4	4	4	3	3	3	3	11	8	7	
9	2	15	21	9	8	27	25	21	17	24	3	25	
復員完結	終戦	停戦	宮崎県西諸県郡小林町着	博多上陸	釜山港出帆	鮮満国境(函門)通過	転進のため林口出發	編成完結	特臨編才四七号下令	爾後同地付近の整備	平陽出發同日東安省林口着	鶏寧県平陽において編成完結	東安省平陽着
隊長	大佐	原	捷	吉									

												昭和	
												20	16
												9	7
												28	24
												9	8
												2	15
												12	9
												4	4
												4	4
												3	3
												26	25
												8	23
												4	17
												3	3
												8	8
												3	24
												7	7
<p>隊長 中佐 藤村 忠明</p>												<p>昭 20 9 28 9 12 4 4 3 26 8 4 3 3 17 3 8 3 7</p>	
												<p>昭 16 7 24 8 24 15 9 9 4 4 3 25 23 17 3 3 7</p>	
<p>通称号 満第六二二部隊 国第四九〇八部隊</p>												<p>工兵第二五連隊略歴</p>	
<p>復員完結。 終戦。 停戦。 宮崎県西諸県郡小林町着。 博多上陸。 釜山港出帆。 鮮満国境図們通過。 転進のため平陽出發。 編成完結。 特臨編第四七号下令。 雞寧県平陽において編成完結、同日より同地付近の警備。</p>												<p>略 歴</p>	
												<p>摘要</p>	

第二五師団通信隊略歴										
通称号 満第二〇六部隊 国第四九〇九部隊										
昭	昭	昭	年							
20	18	16	月							
9	9	8	4	◇	4	3	3	9	8	7
15	2	15	◇	5	26	25	◇	26	3	24
日										
略歴										
<p>国第二編成二号下令。</p> <p>林口において編成完結、同日より同地付近の警備。</p> <p>移駐のため林口出発。</p> <p>雞寧県平陽着、同日より同地付近の警備。</p> <p>転進のため平陽出発。</p> <p>鮮満国境通過。</p> <p>釜山港出帆。</p> <p>博多上陸。</p> <p>宮崎県西諸県郡小林町着。</p> <p>停戦。</p> <p>終戦。</p> <p>復員完結。</p>										
<p>隊長 中尉 南口喜秋</p>										
摘要										

		昭 20		昭 16		年 月 日							
		10	9	8	4	◇	4	3	3	3	8	7	
		6	2	15	13	◇	10	30	29	23	17	4	24
<p>大佐 新村 理市</p> <p>隊長</p>		<p>復員完結。</p> <p>終戦。</p> <p>停戦。</p> <p>宮崎県西諸県郡小林町着。</p> <p>博多上陸。</p> <p>釜山港出帆。</p> <p>鮮満国境區們通過。</p> <p>転進のため林口出発。</p> <p>編成完結。</p> <p>特臨編第四七号下令。</p> <p>林口において編成完結、同日より同地付近の警備。</p> <p>国第二編成二号下令。</p>											
		<p>通称号 満第二八七部隊</p> <p>国第四九一部隊</p>											
		<p>輜重兵第二五連隊略歴</p>											
		<p>略 歴</p>											
		<p>摘要</p>											

		昭		年		月		日	
		20							
		10	9	8	4	◇	4	3	3
		5	2	15	18	◇	15	27	26
								23	17
隊長 大尉 安田 高一郎		<p>特臨編第四七号により編成下令。 林口において第二五師団兵器修理所を基幹として編成完結。 転進のため林口出発。 鮮満国境図們通過。 釜山港出帆。 博多上陸。 宮崎県西諸県郡小林町着。 停戦。 終戦。 復員完結。</p>							
		<p>通称号 満第一三九部隊 国第四九一二部隊</p>							
		<p>第二五師団兵器勤務隊略歴</p>							
		<p>略 歴</p>							
		<p>摘要</p>							

													年 月 日	第二五師団制毒隊略歴
昭 20			昭 18			昭 16						略 歴		
19	9	8	4	4	4	4	3	3	11	8	7		7	国第二編成二号下令。
12	2	15	14	7	2	1	23	17	8	3	24	24	林口において編成完結、同日より同地付近の警備。	
													移駐のため林口出発。	
													密山県滴道着、同日より同地付近の警備。	
													特臨編第四七号下令。	
													編成完結。	
													転進のため滴道出発。	
													鮮満国境図們通過。	
													釜山港出帆。	
													博多上陸。	
													宮崎県西諸県郡高原町着。	
													停戦。	
													終戦。	
													復員完結。	
													摘 要	

		昭 20	昭 16	年 月 日	略 歴	摘 要
		3	8	7		
		4	3	24		
		◇	◇			
		4	3			
		5	28			
		◇	◇			
		4	3			
		8	26			
		9	3			
		10	3			
隊長					国第二編成二号下令。	
初代 大尉 島山治正					林口県古城鎮において編成完結、同日より同地付近の警備。	
二代 大尉 小寺隆					古城鎮出発。	
					鮮満国境區們通過。	
					釜山港出帆。	
					博多上陸。	
					官崎県西諸県郡小林町着。	
					停戦。	
					終戦。	
					復員完結。	

		昭 20		年月日		略 歴		摘 要	
		9	9	8	4	4	4	3	3
		30	2	15	上旬	上旬	上旬	下旬	下旬
隊長 大佐 河合好雄		復員完結。		終戦。	停戦。	宮崎県西諸県郡小林町着。	博多上陸。	釜山港出帆。	鮮満国境區們通過。
								転進のため梨樹鎮出発。	牡丹江省梨樹鎮において編成完結、同日より同地付近の警備。

		昭和		年		月		日		略		歴		摘要		
		10	9	8	4	4	4	3	3	3	3	3	3			
		5	2	15	上旬	上旬	上旬	下旬	下旬	25	17					
大尉 宇毛 功		復員完結。		終戦。	停戦。	宮崎県西諸県郡小林町着。	博多上陸。	釜山港出帆。	鮮満国港図們通過。	転進のため林口出發。	林口において第二五師団病馬収容所を基幹として編成完結。	特臨編第四七号により編成下令。				
廠長																

										昭	年	月	日	略	歴	摘	要				
										20											
										3				通称号 国第四九三五部隊 第二五師団第一野戦病院略歴	特臨第四七号により編成下令。 林口において編成完結。 転進のため林口出発。 鮮満国境図們通過。 釜山港出帆。 博多上陸。 宮崎県西諸県郡小林町着。 停戦。 終戦。 復員完結。	院長 少佐 烏山治正					
										3	3	3	3				3	3	3	3	3
										17	25	29	30	7	4	4	9	15	2	10	15

昭												年	第四二師団司令部略歴 通称号 勲第一一九〇一部隊	
20												19		略
9	9	8	4	4	5	4	2	2	2	2	2	月		
12	2	15	18	15	10	12	29	26	17	16	14	日	要	
師団長 中将 佐野 虎 太												復員完結。	軍令陸甲第六号により臨時編成下令。 仙台において編成完結。 仙台出発。 小樽着。 小樽港出帆。 中千島得撫島上陸、同日より同地付近の整備。 軍令陸甲第四一号により第四二師団編成改正下令。 編成完結。 得撫島出帆。 釧路上陸、その後稚内に移駐。 停戦。 終戦。 復員完結。	

歩兵第一二九連隊略歴												
通称号 勲第一一九〇三部隊												
昭	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	昭	年
20				昭							19	月
7	6	6	6	6	10	9	10	9	5	4	2	2
16	12	6	10	1	5	22	4	21	10	12	28	20
日												日
<p>軍令陸甲第六号により臨時動員下令。 若松において編成完結。 若松出発。 青森港出帆。 千島新知島南浦上陸、同日より同地警備。 軍令陸甲第四一号により第四二師団編成改正下令。 編成完結。 この間得撫島に転進のため新知湾出発。 この間得撫島上陸、同日より同地警備。 この間北海道に転進のため得撫島出帆。 この間北海道網走又は根室に上陸。 軍令陸甲第一一〇号により編成改正下令。</p>												
												略
												歴
												摘
												要

		9	9	8
		17	2	20
	隊 長 大佐 土持 城	復員完結。	終戦。	編成改正完結。 宗谷付近において停戦。